

法政大学学術機関リポジトリ  
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-12-13

なし

---

(発行年 / Year)

1910

## 第八章 先取特權

(理由) 先取特權ノ性質及ヒ其規定ノ方法ニ諸國ノ法典ニ於テ頗ル區々ニシテ或法典ハクノ以テ一種ノ人權ト認ムルニ反シ他ノ法典ハクノ以テ物權ノ一種トシ又其規定スル所ニ付テモ或ハ之ヲ民法中ニ掲ガ、或ハ之ヲ破産法ニ掲タルヲ見タ木案ニ先取特權ヲ以テ一種ノ物權ト認ムルモノナレハ之ニ關スル規定ハ物權編ニ掲タルヲ以テ當然セリトス

先取特權ニ關スル既成法典ノ規定ハ精審ニ過キテ顧ル頗難ナリト雖モ能ニ立法ノ本旨ハ得且概ナリ  
論云遠スルヲ以テ木案ハ主トレテ之ニ據據ノ其修正ヲ要スル場合ニ於テハ常ニ左ニ照ニ著眼シ先取特權ノ如キ強力ナル優先權ヲシテ之ヲ認ムル立法上ノ必要及ヒ其趣旨ニ適セシメントヲ期セ

第一、先取特權ハ強力ナル優先權ナレハ一方ニ於テハ斯ノ如キ特權ヲ債權者ニ與フニ因リテ他ノ債權者ヲ不當ニ害セシメサランコトニ注意ベルト共ニ他ノ一方ニ於テハ若シ此特權ヲ與ヘサルトナハ或債務者ヲレテ自己ノ財産ヲ以テ債務者ノ負擔ヲ分擔シ他ノ債權者ニ故ナク利益ヲ得セシムル結果ニ附ラレメサルコトニ注意セリ

第一、先取特權ノ規定ハ公益上ノ理由ニ木ツクモノナルコトニ注意シ若シ此特權ヲ與ヘサルトキハ德義ニ背キ風儀ヲ壞リ或ハ經濟上ノ利益ヲ害スル虞アル場合ニ於テ之ヲ附與シ以テ特別ノ債權者ノ利益ヲ保護セリ

其他先取特權ノ原因ニ付テモ間接ノ原因ニ過キサルモノニハ此特權ヲ與ヘサルコトニ決セリ例へ  
既成法典ニ於テハ公吏ノ保證金ヲ貸シタル時債權者ニ先取特權ヲ與フ如キ固ヨリ其理由ナキニ非ス  
ト雖モ若レシスノ如クナヘ特權留保ノ範圍原キニ失スル弊アルヲ以テ之ノ削除セシム如シ又先取特權  
ノ目的物ニ付テモ限定ノ方針ヲ取りタリ例ヘハ既成法典ハ目的物カ金錢ノ變更或之債權者ノ手ヲ離  
レテ他ニ移轉スル如キコトニ因リ共該體ヲ變更セシニ拘ラス先取特權ハ常ニ之追従シテ存立ス  
ルコトヲ認ムルモノニシテ固ヨリ其理由ナキニ非スト雖モ之レ亦特權附與ノ範圍廣キニ失スル弊ア  
ルヲ以テ之ノ制限ヲ加ヘタルカ如レ

コトヲ期シタリ

## 第二節 總則

（理由）本節ハ既成法典先取特權ノ總則ニ從テモノニシテ其不取ノ條項ヲ削除シタルノ外多クハ字  
句ノ修正ヲ加ヘタルニ過キス即チ既成法典摘出第百三十一條第二項及ヒ第三項ハ特ニ明ニテ要セ  
ス第百三十四條ハ單ニ先取特權ノ種類ヲ掲タルモノニシテ本來ニ於テモ總デ此等ノ先取特權ヲ認ム

ト雖モ特ニ之ヲ明示スル必要ナク又第百三十五條第一項ハ固ヨリ無用ニシテ其第二項及ヒ第三項ノ  
規定ハ本來第三節ノ規定ニ屬シ而シテ第百三十六條ノ規定亦特ニ明示スル必要ナキヲ以テ此等ノ  
條項ヲ總合之ヲ削除セリ

## 第三百三條

（理由）本條ハ既成法典摘出第百三十一條ヲ修正レテ先取特權ノ性質ヲ明ニセリ既成法典同條法  
文ノミニ依レハ先取特權ハ如何ナル性質ヲ有スル優先權ニヤ明ナラサノミナラス此特權ハ債權  
ノ一種ノ效力タルニ過キサルカ將タ一種ノ物權タルカニ付キ疑ナントス故ニ本來ハ先取特權ノ優  
先性質ヲ示シ且フ債務者ノ財産ヲ以テ其目的物ト爲スコトヲ掲ケ以テ本權ノ物權タルコトヲ明ニ  
セリ

次ニ本來ハ先取特權ハ本法其他ノ法律ノ規定ニ因リテ發生スヘキ特權ナルコトヲ示シ本法以外ノ法  
律例ハ公法若クハ商法盜法等ニ於テ特別ノ先取特權ヲ認定シ得ムコトヲ認ムルト同時ニ先取特  
權ハ必ス法律ノ規定ニ因リテ始メテ發生スルコトヲ明ニセリ其後既成法典ハ合意上ノ先取特權ト否  
フルセノトヲ區別スル事雖モ先取特權ハ總テ法律ノ規定ニ本クモノナレハ斯ノ如キ區別ヲ設クル  
理由ナキニシリ之ヲ廢止セリ

## 第三百四條

（理由）本來ハ先取特權ノ目的物カ其狀體ヲ變シタルニ拘ハズ尙本之ニ追従シテ先取特權ノ存立シ

得ルコトヲ認メサル主義ナリト雖モ本條ハ實際ノ便宜上此主義ヲ制限スルモノニシテ既成法典擔保編第百二十三條比レソハ其範圍ヲ廣メタルモト云サルヘカラス何トナレハ既成法典同條法文依ハ火災保険ノ如キ場合ニ於テ保険物二付キ先取特權ヲ有スル者ハ其目的物カ火災ニテ滅失スルトキハ被保險額ニ付キ直ニ先取特權ヲ行フコト能ムスト雖モ之甚タ實際ニ不便ナルノミナラクヘキセノニシテ獨佛諸國ノ法文ノ解釋ニ從ヘハ既成法典ノ如ク先取特權ハ被保險額ノ如キセノニ及ハト雖モ實際上極メテ不便ナルヲ以テ巧ニ法律ニ規定ヲ済リテ其不便ヲ避ケルコトハ殆ント皆因リ債務者ノ受クヘキ金錢云々ト明記レ被保險額ノ如キセノニ付テモ直ニ先取特權ヲ行ヒ得ヘキコトヲ認レハナリ蓋シ先取特權ノ目的物カ保險ニ付キラルトキハ先取特權者モ當然其利益ヲ受クヘキセノニシテ獨佛諸國ノ法文ノ解釋ニ從ヘハ既成法典ノ如ク先取特權ハ被保險額ノ如キセノニ及ハト雖モ實際上極メテ不便ナルヲ以テ巧ニ法律ニ規定ヲ済リテ其不便ヲ避ケルコトハ殆ント皆通狀況ナレハ本來ヘ此等ノ事情ヲ斟酌シ既成法典・概旨ヲ擴張セリト雖モ其他ハ既成法典第百三十二條字句ヲ修正シタルニ過キズ

### 第三百五條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百三十二條ノ字句ヲ修正シタルニ過キサレハ別ニ説明ヲ要セス

#### 第一節 先取特權ノ種類

(理由) 本節ハ先取特權ノ種類ヲ指定スルモノニシテ其區別ノ大體ハ既成法典ノ主義ニ倣ヒ一般及特別ノ先取特權ヲ區別シ次ニ鶴遼又ハ不動產ニ關スル特別ノ先取特權ヲ認メタリ

#### 第一款 一般ノ先取特權

(理由) 既成法典ハ佛諸國ノ法典ニ倣ヒテ一般先取特權ハ總動產ニ付キ之ヲ行フタル後ニアリサレバ不動產ニ及ブコトヲ得サルヲ以テ原則ト爲ス。雖モ本來ハ原則上斯ノ如キ區別ヲ爲サヌシテ一般先取特權ハ債務者ノ總動產及ヒ總不動產ニ存スルモノノドシ其實際ノ效力ニ至リテハニラ第四節ノ規定譲リタリ

#### 第三百六條

(理由) 本條ハ一般ノ先取特權ヲ説明シ併セテ其種類ヲ舉ケルモノニシテ既成法典擔保編第百二十七條ニ附テ加ヘタリ既成法典同條ハ動產及ヒ不動產ニ係リ先取特權アル情權ヲ掲クル主意ナリト誰知之諸種ノ費用ヲ掲クル以テ其記載スル所ハ情權アラシシ其原因ナリ故ニ本來ハ先取特權種類ヲ示スニ當リ總テ情權ノ原因ニ依リテ之掲タルヌリ

次ニ木柴 最後疾病費用ヲ以テ先取特權ノ原因ト認メサルコトニ決セリ蓋此費用ニ對シテ先取特權ヲ認ムル必要ナク且最後疾病費用ノ如キハ多クハ情義ニ關スルモノナレハ之ニ木本ク情權ヲ與ル類似メテ多ク又其理由ナキニアラスト雖モ總債務者ノ利益ヲ保護スル必要ニ比シテ如斯先取特權ヲ認ムル必要ナク且最後疾病費用ノ如キハ多クハ情義ニ關スルモノナレハ之ニ木本ク情權

『先取特權ヲ附スルハ却テ我國ノ民情ニ反シ其必要ナシト信スレハナリ

#### 第三百七條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百三十八條ニ字句ヲ修正ヲ加ヘタルノミナレハ別ニ説明ヲ要セス

### 第三百八條

六

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百三十九條ノ修正セリ既成法典ハ慣習ニ從フコトヲ以テ一要件ト爲スト雖モ身分相應ト云フトキハ多クハ慣習、從テモノノミナラスノ如キ字句アレトハ慣習ニ從後ハサル罪式ノ費用ニ對シテハ先取特權ノ生セサル如キ號ヲ生セシムヲ以テノヲ罰レヒ既成法典同條第二項ニ依レハ同居親族ノ罪式費用ニ限リテ先取特權ノ生セシムヲ罰者カ扶養ベヘキ親族ナレハ同居セサルト雖モ其最後始末ヲ爲スヘキモノト認ムルヲ以テ此點ニ於テ先取特權ノ原因ノ範囲ヲ廣メタリ又既成法典ノ法文ニ依レハ同居親族ノ罪式費用セラレバ債務者身分ニ應スル費用ノ如ク解セラレント雖モ本來死亡タル者ノ身分ニ應スル費用タルコトヲ明示セリ其他既成法典同條第三項ハ其必要ナキニ因リ之ヲ削除セリ

### 第三百九條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百四十一條ニ修正セリモニシテ既成法典ハ最後一ヶ年ノ給料ヲ擔保セシムト雖モ本來ハ二年半減シ六ヶ月ト爲シタル所以ハ給料ハ大抵月拂ナルノミラズ一ヶ年前前割リテ保護ヲ與フルトキハ他ニ債務者ノ保護ニ比シテ其度ニ過クト信スレハナリ又本條但書依リテ給料ノ金額ヲ限定シタルハ雇人ト云ハ如キ廣キ文字ヲ用ユルトキハ其中ニハ高給雇人ニアルヘ而シテ此等ニ者ニ總テ六ヶ月間給付、對スル先取特權ヲ與フルトキハ甚シ其他債務者ノ利益ヲ害スルコトアルヲ以テ英國破産法ガ單ニ拂給ノ雇人ノミヲ保護シ且ツ給料ノ額ヲ限定

スル例ニ倣ヒ五十圓ヲ限度トスルヲ以テ相當ト認メタル三因レリ其他既成法典ノ如ク同居親族ノ雇人ノ先取特權ヲ認メサルハ此等ハ通常債務若本人ノ雇人タルヘキヲ以テ特ニ之ヲ明示スル必要ナクレバナリ

### 第三百十條

(理由) 既成法典擔保編第百四十二條ニ依レハ日用品ノ範圍明ナラス又總テノ雇人ノ日用品ノ供給一對テ先取特權ヲ與フルハ頗ル廣キニ失スト云ハサルカラス故ニ本來ハ日用品中特ニ必要ナルモノヲ減ヒテ飲食料及ニ薪炭油ノ費用ニ限レリ又僕婢ハ主人之ヲ養フヘキモノニレテ或種類ノ雇人ノ如ク自ラ日用品ヲ拂スル者ト異ナルニ因リ本來ハ既成法典ノ如ク雇人ト云ハスレテ其範圍ヲ僕婢

ニ限リタリ

### 第一款 動產ノ先取特權

(理由) 既成法典擔保編第四章第二節ハ動產ニ關スル特別ノ先取特權ト云フ表題ヲ掲タルニ反シ本來ハ單ニ之ヲ動產ノ先取特權ト改メタリト雖モ其意義ヲ變ヌニアラス蓋シ本來ノ先取特權ノ特別ナ百四十六條ハ動產ノ關スル特別ノ先取特權ヲ示スニ當リ債務者ヲ掲タルハ立法上ノ體裁ヲ得タルセルコトハ第三百十一條ノ規定ニ依リテ直ニ知り得ヘケレハナリ

### 第三百十一條

(理由) 既成法典擔保編第百三十七條ハ一般ノ先取特權ヲ示スニ當リ債權ノ原因ヲ掲タルニ反シ同第百四十六條ハ動產ノ關スル特別ノ先取特權ヲ示スニ當リ債務者ヲ掲タルハ立法上ノ體裁ヲ得タルセ

ノト云フヘカラス本案ハ既ニ第三百六條ニ於テ債權ノ原因ヲ掲ケタレハ本條ニ於テモ亦債權ノ原因ニ依リテ動産ノ先取特權ヲ列舉セリ然トモ其實質ニ於テハ既成法典大同小異ニシテ只列債權ノ順序ニ付キ聊カ修正ヲヘタルノミ即ち第號ニ至第三號ノ場合ハ默示ノ質トモ稱セラルモノナレハ之ヲ先ニシ他ノ債權者ノ共同利益ニ爲リタル原因ノ如キモノヲ後ニ掲タルコトハセリ又公吏ノ保護金貸主ノ先取特權ハ既ニ本章ノ始ニ於テ説明セシ理由ニ因リテ之ヲ删除セリ

### 第三百十二條

(理由) 本條乃至第三百六條ハ不動産ノ質貸借ニ本クノ先取特權ヲ規定シ就中本條ハ其總則ヲ定ムルモノニシテ固ヨリ土地及ニ建物ニ共通セノトス既成法典總保編第百五十一條ハ債權ノ種々ノ原因ヲ掲ケ併セテ先取特權ノ範圍ヲ規定ス雖モ本案ハ脱漏ヲ遺クル爲メ本條ニ於テ慶ニ債權ノ原因ノヨリ規定シ先取特權ノ範圖ハ之ヲ第三百五十五條ニ譲リタリ

### 第三百十三條

(理由) 本條ハ土地又ハ建物ノ質貸人ノ先取特權ノ目的物ヲ指定スルモノニシテ既成法典總保編第百四十九條及ヒ第百四十七條ヲ合シテ之修正ヲ加ヘタル既成法典第百四十九條ハ田畠森林ノ質貸借ニ限ルト雖セど宅地沼等ノ質貸人ニモ同様ノ保護ヲ與フヘキモノナレハ本案ハ本條第一項ニ於テ慶ク土地ノ質貸人ト改メタリ之ニ反レテ既成法典ハ單ニ居宅ニ備附ケタル總テノ動産迄ニ先取特權ヲ及ハシムト雖セ居宅ニ備ヘタル動産ト土地質貸ノ先取特權トハ毫モ關係ヲ有セサルコト多ダ從テ先

取特權ノ範圍廣キニ失スル虞アルヲ以テ本案ハ之ヲ限定スルニ生悉ニ本フキ居宅ノ二字ヲ削リタリ然レバモ本案ノ質借地ニ備附ケタル動産ト云フヲ以テ質借地之上ニ在キ居宅其他ノ建物ニ内ニ備附ケタル動産ニ付キ當然先取特權ヲ行コトヲ得ヘキセノニシテ地役權又ヘ地上權ノ場合ニ於タル時又タル時物内ニ備附ケタル動産ハ又建物ノ存在スル土地ニ備附ケタルモノト云フヘキナリ又本條ノ如ク質借人ノ占有ニ在リ果シト云フトキハ穀物ノ如キモノノ質借地以外一持出レテ居宅貯庫等ニ收ムルモ先取特權ハ之ニ及ブモノニシテ既成法典第百四十九條第一項ノ規定ヨリハ其範圖ヲ廣メタルモノト云フヘシ其他既成法典同條第三項ノ分果小作人ニ關スル規定ハ本條第一項ノ規定ニ合マルヘキヲ以テ之ヲ刪除セリ

本條第二項ハ既成法典總保編第四百四十七條ニ聊カ修正ヲ加ヘタルヲ即チ既成法典ノ質借人ノ使用又ハ商工業ノ爲メニ備ヘタル動産ニ限ルト雖モ斯ノハク限定スル理由ハ其第一項ノ規定ハ我國ノ慣習三反スルノミナケタル動産ト改メタル又同條第一項ノ規定ニ付テハ本案ハ之ヲ第三百十四條ノ規定ニ譲リ其第三項ニ掲タル現金其他ノ金玉寶石ノ如キハ建物ニ備附ケタル物ニアラヌシテ先取特權ノ目的物ヲツアルシテ彼ニ質借人ヲ困シムルトミナルモノトテ寧ロ相互ノ信用又ハ約束放任ニルヲ便ナリト認ムコト明白ナル因リ之ヲ刪除セリ

又既成法典總保編第百四十八條ヲ刪除シタル理由ハ其第一項ノ規定ハ我國ノ慣習三反スルノミナラス資質ノ多額ナル建物借受ケタル場合ニ於テ債務者ニ本項姪キ義務負ハシムルハ實際不便ニシテ掲タル現金其他ノ金玉寶石ノ如キハ建物ニ備附ケタル物ニアラヌシテ先取特權ノ目的物ヲツアル

ハナリ次ニ同條第一項ノ規定ハ第一項刪除ノ結果トシテ不用ニ歸シ又其第四項ハ別ニ明文ヲ要セス  
類ニ第三項ヘ詐害行爲ニ關スル規定ニシテ實質上其必要アリト雖モ本章ニ規定スヘキ事項ニアラサ  
ルヲ以テ遂ニ本條全體ヲ刪除セリ

### 第三百四條

(理由) 本條ヘ既成法典擔保編第百五十條ニ字句ヲ修正ヲ加ヘタルノミ又同條ニハ備附ケノ場所ヲ指  
定ト雖モ本來ハ既ニ第三百三十三條ノ規定ニ依リテ明了ナリト認ムルニ因リ之ヲ刪除セリ

### 第三百五條

(理由) 本條ヘ既成法典擔保編第百五十一條ニ字句ヲ修正ヲ加ヘタルノミ又同條ニハ備附ケノ場所ヲ指  
定ト雖モ本來ハ既ニ第三百三十三條ノ規定ニ依リテ明了ナリト認ムルニ因リ之ヲ刪除セリ

### 第三百六條

(理由) 本條ヘ既成法典擔保編第百五十二條ニ字句ヲ修正ヲ加ヘタルノミ又同條ニハ備附ケノ場所ヲ指  
定ト雖モ本來ハ既ニ第三百三十三條ノ規定ニ依リテ明了ナリト認ムルニ因リ之ヲ刪除セリ

### 第三百七條

(理由) 本條ヘ既成法典擔保編第百五十九條ニ字句ヲ修正ヲ加タルノミ又後帶ナル文字ハ諸國ノ法  
典モ其例多シト雖モ後帶ト云フトヤハ後ヨリ送リシ物ニ付テハ先取特權ヲ行フコト能ハタルカ  
如ナ既生セシムルニ因リ之ヲ除キタリ

### 第三百八條

ヲ得ルモノニシテ販金ヲ差置キ債權ノ全部ニ付テア先取特權ヲ行フコトヲ得サルヤ明ナリ

### 第三百九條

(理由) 本條ヘ既成法典擔保編第百六十條ヲ修正シタルセノレテ既成法典ハ舟車運送業人ニ限リ  
テ先取特權ヲ與フト雖モ舟車運送ノ外人又ハ牛馬ニ依ル運送多ク又先取特權ヲ以テ保護スヘ  
ハ單運送業人ニ限ル理由ナキヲ以テ本來ハ廣ク範囲ナリ先取特權ト改メタリ又既成法典ハ開港  
其他正當ノ費用ト云フト雖モ之レ單ニ示ス過キタノミナラス不正當ノ費用タルコトヲ得サルハ  
勿論アルヲ以テ之ヲ刪レリ

### 第三百十九條

(理由) 本條ヘ既成法典擔保編第百六十條ヲ修正シタルセノレテ既成法典ハ舟車運送業人ニ限リ  
テ先取特權ヲ與フト雖モ舟車運送ノ外人又ハ牛馬ニ依ル運送多ク又先取特權ヲ以テ保護スヘ  
ハ單運送業人ニ限ル理由ナキヲ以テ本來ハ廣ク範囲ナリ先取特權ト改メタリ又既成法典ハ開港  
其他正當ノ費用ト云フト雖モ之レ單ニ示ス過キタノミナラス不正當ノ費用タルコトヲ得サルハ  
勿論アルヲ以テ之ヲ刪レリ

二明文要セサルノミナラス第二項刪除ノ結果トシテ當然ノヲ刪レリ

### 第三百十九條

(理由) 第百九十二條乃至第一百九十五條へ所附即時效ニ關スル規定ニシテ善意占有者ヲ保護スル必要ニ出テタルモノナリ而シテ木案第二百二十一條乃至第三百十九條ノ場合ニ於テ不動産貸入旅店主人又ハ運送人カ若意ナルモキハ借入人旅客又ハ運送依頼人屬セラル物保アモ先取特權ヲ行ハシム必要アリト認ムル。因リ本條ニ於テ第百九十二條乃至第一百九十五條ノ規定ヘ第三百十九條ノ先取特權ニ准用スヘキコトヲ明示セリ。

### 第三百二十條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百五十五條第一條二字句ノ修正ヲ加ヘタルノミニシテ其主意ニ於テ異ナルシハ先取特權ノ範圍ヲ制限スル主意ニ出フアルモノニシテ債權ノ間接ノ原因トモ云フヘキモノニ迄先取特權ヲ與フル必要ナント信スレバナリ。

### 第三百二十一條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百五十五條第一項二字句ノ修正ヲ加ヘタルノミニシテ其主意ニ於テ異ナル所ナキヲ以テ別ニ説明ヲ要セス。

### 第三百二十二條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百五十五條第一項二字句ノ修正ヲ加ヘタルノミニシテ既成法典ヘ期限ヲ附與シタルト否トヲ問ハサルコトヲ示スルト羅モ其必要ナキヲ以テ之ヲ刪リ又同條第一項ヘ交換三關スル規定ニシテ實質上必要ノ法文ナリト雖モ之ヲ刪除シタルハ交換ノ補足額ニ付アハ賣買固ヨリ明文ヲ要セサレハナリ。

### 第三百二十三條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百五十二條ニ聊カ修正ヲ加ヘタリ即チ既成法典ハ種子ニ限リト羅モ

次ニ既成法典擔保編第百五十三條ノ規定ニ先取特權ノ範圍ヲ制限セントスル本案ニ主意ニ木>Fキ用方ニ因ル不動產ハ本案ニ認メサル所ノルヲ以テ之ヲ刪レリ又同第百五十八條ヲ刪除シタルハ之レ

固ヨリ明文ヲ要セサレハナリ。

### 第三百二十四條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百五十四條相當ニ本案ハ既成法典ニ於テ雇人ノ先取特權ヲ護ニ比シテ雇頃ニ失ヌル虞アレハナリ蓋シ既成法典モ此點ニ於テハ同一ノ主意ニ出フアルヘ

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百五十四條相當ニ本案ハ既成法典ニ於テ雇人ノ先取特權ヲ

認メタレハ本條ノ規定ハ雇人以外ノ農工業労役者ノ先取特權ニ關スルコト明白ルヲ以テ既成法典同様於ケル雇人ノ外ト云四字ヲ刪リ從テ通常雇人ノ報酬ヲ言ヒ顯ハス、キ給料ナル文字ノ代リ

ニ質金ナル文字ヲ用ヰタリ又既成法典ハ工業労役者ノ先取特權ノミツ最後、三ヶ月間ノ給料三限ルトヨリ本案ハ農業労役者ノ先取特權ニ亦最後ノ一个年ニ限りタルハ至當ノ事ト云フ、キノミ

## 第二款 不動産ノ先取特權

(理由) 本款表題ノ變更ニ付シハ既ニ第二款ニ於テ述ヘシ如ク單二字句ヲ簡明ナラシムルニ出タルノミ

### 第三百一十五條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百六十五條ヲ修正セリ即チ既成法典ハ先取特權ヲ有ナル四種ノ債権者ヲ括クト雖モ本案ハ之ヲ三種ニ減少シ且フ第三百五條及ヒ第三百十一條ノ例ニ依リテ信権ノ原因ヲ揚ゲタリ

既成法典擔保編第百六十五條第一號ハ特々交換ノ場合ニ於ケル先取特權ヲ明示ス、雖モ交換ニ付子ハ多クハ賣買ノ規定ヲ運用ヒタルノミナラス交換ハ賣買ニ比シ取引上必要且須繁縝ル行爲ニ非サルヲ以テ本案ハ既ニ本章ノ始ニ於テ説明セル理由ニ本ワキ先取特權ヲ限定レ且モ其範圍ヲ明確ナラシメシカ爲メニ之ヲ刪除セシノミナラス既成法典同號ノ有無又ハ無價ノ讓渡ニ對ヌル先取特權ノ規定モ同一ノ理由ニ因リテ之ヲ刪除セリ

既成法典同條第二號ハ共同分割者ノ先取特權ヲ認ムト雖モ本案ハ既ニ第三百五十九條ノ規定ニ依リ

同一ノ理由ニ因リテ之ヲ刪除セリ

テ共有者ニ充分ノ保護ヲ與ヘタレハ本條ニ於テ特ニ此者ノ先取特權ヲ認ムル必要ナギノミナラス若シ之ヲ認ムルドキハ第二百五十九條ノ規定ハシテ却テ徒法ニ歸セシメ或ハ二重ノ保護ヲ與ヘルコトトナクヲ以テ之ヲ刪除セリ又既成法典第百四號ハ譲渡人等ニ支拂ヒタル金錢ノ貸主ノ先取特權ヲ認ムト雖モ本案ハ既ニ既成法典ノ先取特權ヲ認ムト雖モ既成法典ノ先取特權ヲ規定スルニ當リ公吏ノ保證金貸主ノ先取特權ヲ刪除セント同一ノ理由ニ因リ此等ノ者ニマテ先取特權ヲ與フル必要ナシト認メ之ヲ刪除セリ之ニ反テ既成法典ハ不動產保存者ノ先取特權ヲ認ムト雖モ既成法典ノ先取特權ヲ認ムル以上ハ不動產保存ニ木クノ債権ニ先取特權ヲ付スルヲ以テ至當ト信シタレハ本案ハ不動產ノ保存ノ以テ先取特權ノ一原因トシ新ニ之ヲ加ヘタリ

又既成法典同條第三號ニ掲タル先取特權ノ同号リ必要ナルヲ以テ之ニ二字句ノ修正ヲ加エ共實質ヲ存セリ故ニ本案ハ不動產ノ先取特權ヲ三種ニ限定シ不動產ノ保存ニ固ム先取特權不動產ノ工事ニ固ル先取特權及ヒ不動產ノ賣買ニ固ル先取特權ヲ認メタルナリ斯ノ如ク本案ハ不動產ノ先取特權種類ニ減少シタルヲ以テ交換其他ノ讓渡ノ場合ニ於ケル先取特權及ヒ共同分割者ノ先取特權ニ固ム既成法典ノ條項ニ總テ之ヲ刪除スルニ至レリ

### 第三百一十六條

(理由) 本案ハ既ニ第三百二十五條ノ規定ニ依リテ不動產保存ノ先取特權ヲ認メタルヲ以テ從テ其原因及ヒ範圍ヲ指定スル必要ヲ生シタク之ニ木條ノ規定ヲ讀クル所以ニシテ其實質ニ於テヘ不動產保存

ノ先取特權ノ規定ト異ナル所ナキヲ以テ第三百二十一條第二項ノ規定モ亦本條ノ場合ニ準用スヘキ

### 第三百二十七條

コトヲ示セリ

(理由) 本條ヘ既成法典擔保編第百七十四條及に第百七十五條合シテ之ニ修正ヲ加ヘタリ即チ既成法典第百七十四條ヘ工事ノ種類ヲ例示スル雖モ本案ハ固ニ例示ノ方法ヲ讀ダサル主義ナルヲ以テ之ヲ除キ單ニ債務者ノ不動產ニ關シテ爲シタル工事、改メタリ又本條第二項ハ既成法典擔保編第百七十五條第一項ト其實質ヨニニス而シテ同條第一項以下規定ハ特價證明ノ方法ヲ定ムルモノナレバ本案ハクノ先取特權ノ效力ニ關スル第三百三十八條ノ規定ニ譲リタリ

### 第三百二十八條

(理由) 本條既成法典擔保編第六十六條第一號ニ相当ニ同條以下第百八十九條ノ規定ハ證明方法又ニ交換其體、證書ニ關スル規定ニシテ其ノ必要ナニ因リ總テ之ヲ廃除セリ

### 第三節 先取特權ノ順位

(理由) 先取特權、順位ニ關スル規定ハ各國共ニ錯雜ニシテ立法上ノ斟酌モ亦頗ル困難ナリトス而レテ既成法典ヘ一般ノ先取特權ノ順位、動產ニ關スル特別ノ先取特權ノ順位及ヒ不動產ニ關スル特別ノ先取特權ノ順位ニ付各一款ヲ設ケルニ拘ハラス先取特權總則ニ於テモ亦其規定ヲ揭ケルモノノニシテ特ニ錯雜ノ極ムルヲ見ル故ニ本案ハ多數ニ立法例ニ依ル順位ニ關スル規定ヲ經括シテ本節ヲ

### 設立務メテ之ヲ簡明ナフシメタリ

#### 第三百二十九條

(理由) 本條ヘ既成法典擔保編第四十四條ノ一部及ニ第一百六十三條ヲ合シテ之ニ修正ヲ加ヘタリ即チ本條第一項ニ定ムル所ノ順位ハ既成法典ノ順位ニ異ナルヨドナシト雖モ一般ノ先取特權ノ特別ノ先取特權競合スル場合ニ於ケル第三項ノ規定、原則ニ既成法典ト反對ノ主義ヲ取ルモノノス節成法典擔保編第六十三條第一號ハ本條第二項但書ノ如ク訟事費用ハ其有益タリシ限度ニ於テ總債權者ノ債權ニ先フコトヲ認ムト雖モ其第二號ニ於テ證券費用外ノ一般ノ先取特權ハ特別ノ先取特權ニ先フノ以テ原則ト爲セリ然ルニ本案ハ務メテ各債權者平等ニ満足セレメ公平ノ結果ヲ得シトヲ期す和蘭西班牙等ニ立法例ニ倣フテ特別ノ先取特權ハ般ノ先取特權ニ先フノ以テ原則ト定ムリ而シテ其理由トスル所ハ一般ノ先取特權ハ債務者、總財產ニ及スモノナレハ此特權ヲ有ス債權者ハ自己ノ債權擔保ノ點ニ於テ安固ナルニ反シ他ノ債權者ハ之レニ准シテ擔保ノ減縮ヲ受クルモト云々サルヘカラヌ之ニ反シテ特別ノ先取特權ノ目的物、限定セルモノナレハ之カレハ爲ミニ一般ニ他ノ債權者ヲ害スルコト比較的ニ少カルヘシ然ルニ般ノ先取特權ニ付スルニ特別ノ先取特權ヲモ除却スル力カツ以テスルトキハ益一般ノ先取特權者ヲ保護スルノ度ニ失シ特別ノ先取特權ノ效力滅少スルハナリ故ニ本案ハ各債權者ノ利害ヲ斟酌シテ既成法典ニ反對ノ原則ヲ取ルト雖モ實際ニ於テハ表面ニ於ケル如キ反対ノ結果ヲ生スルニ非斯トナムハ既成法典モ亦擔保編第六十三條第一號ノ

### 第三百三十條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第六百六十四條修正ヲ加ヘタリト雖モ其實質ニ於テ大差アルニアラス  
既成法典ハ原則トシテ先取特權ノ目的物、保有者第一ノ順位ヲ與ヘ不動產貨貸人等第二ノ順位  
ヲ與フト雖モ不動產貨貸人ノ如キ者ハ所謂默示不買權ヲ有スルモノナレハ恰モ既成法典同條第ニ項  
ニ於テ動產貨設定ノ時其目的物ノ保有費用カラ未支拂ヘレサルコトヲ知ラリシ質取債權者第二  
ノ順位ヲ與フル如ク默示ノ質取債權者ニ之ト同様ノ順位ヲ得セシムルヲ以テ至當ト認メテハ本  
案ハ原則トシテ不動產貨貸等ノ先取特權之順位ニ置キ動產保有ノ先取特權ニ第二順位ヲ與ヘ  
動產賣買等ノ先取特權ハ既成法典ノ如ク之ヲ第三順位ニ置クト雖モ本條第二項ノ規定ニ依テ之  
ニ例外ヲ設ケ第一ノ順位ニ在ルカ債權取得ニ當時ニ第二又ハ第三ノ順位ニ在ル先取特權、存在ヲ  
知リタルトキハ之ニ先ソコトヲ得サル旨ヲ揚ケルヲ以テ其實質ニ於テハ既成法典ト別ニ異ヌル所ナ  
シトス又本條三於テ動產貨取債權者ノ順位ヲ揚ケルハ本案ハ之ヲ先取特權ノ效力ニ關スル第三百  
三十一條ノ規定ニ譲リタレハナリ

次一本條第三項ハ既成法典第六百六十四條第八項ト同趣旨ニ依リ之ヲ規定シ既成法典同條第九項ノ工

業者ノ先取特權ノ順位ハ此ノ中ニ含マルニ因リ之ヲ刪除セリ又既成法典同條第十項前段ノ規定ハ  
質權規定ニ依リテ明白ナルノミナラス其後段ニ於ケル保證金貸主ノ先取特權ハ本案ノ認メタル所  
ナルヲ以テ第十項ノ規定ハ之ヲ刪除セリ

### 第三百三十一條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第六百八十七條ヲ修正シタルモニシテ既ニ本案カ共同分割者及ヒ委換  
其他有價又ハ無價ノ譲渡人ノ先取特權ニ關スル規定ヲ刪除セリト新ニ不動產保有ノ先取特權ヲ認メ  
タマ自然結果ニ出ツルモノトス而シテ既成法典同條第一號文書以下ハ明文ヲ要セサルヲ以テ又向  
條第一號文ノ先取特權ハ本案ノ認メタル所ナルヲ以共ニ之ヲ刪除セリ

### 第三百三十二條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第六百三十五條第三項ノ規定ト同一ナルヲ以テ別ニ説明ヲ要セス只々既  
成法典ハ之ヲ先取特權ノ原則ト規定スルト既ニ先取特權ノ順位ノ爲メニ一節ヲ設ケル以上ハ本  
節ニ規定スルヲ以テ至當ト認ムルニ因リ其位置ヲ變更シタルモノ

### 第四節 先取特權ノ效力

(理由) 既成法典ハ先取特權ノ順位ト共ニ其效力ニ付テ亦一般ノ先取特權、動產ニ關スル特別ノ先  
取特權及シ不動產ニ關スル特別ノ先取特權ノ區別ニ從フノ各別ノ規定ベト雖モ本案ハ便宜ノ爲ニ之  
ヲ本筋ニ繩括セリ又既成法典ハ先取特權ノ保存ニ關スル精簡ナル規定ヲ揚ケト雖モ本案ハ之ヲ尊記法

若クハ抵當ノ規定ニ譲リ本節ニ於テハ先取特權ノ效力ニ關スル一般ノ規定ノミヲ掲ケ之ニ依リテ既成法典ノ煩雜ナル條項簡明ナラシメタリ

### 第三百三十三條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第一百六十條第一項及ヒ第四百四十八條第二項ノ規定ノ如ク取引ノ安全ヲ保護スル必要ニ本フタモノニシテ既成法典ト同一主義ニ從フモノナリ

### 第三百三十四條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第一百六十四条第一項ニ一部ヲ取ルモノニレテ既成法典ハ原則トシテ物ノ保管者第一ノ順位ニ置キ質權者ヲ第一ノ順位ニ置ケト雖モ本案ハ既ニ三百三十條ニ於テ不動產借貸人等ノ先取特權ヲ第一ノ順位ニ置キタルヲ以テ本條ニ於テモ亦固ヨリ動產質權ハ先取特權ニ先ツシムト爲セリ蓋シ質權者ハ現實ニ其動產ヲ以テ借權ノ目的物トナスモノナレハ保存者トハ大其事情異ニスルモノナラス保存事實ニ付シハ往々該監ノ行ハルコトアルヲ以テ保存者ニ先取特權第一ノ順位ヲ與フルコトヲ原則ト爲スハ概々妥當ナラサレハナリ又本案カ既成法典ノ旨置テ變更ニタル所以ハ本條ハ先取特權ト動產質權ト競合スル場合ヲ規定スルモノニシテ先取特權ノ效力ニ關係ハナリ

### 第三百三十五條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第一百四十三條ニ聊カ修正ヲ加ヘタリ即チ本條第一項及ヒ第二項ノ規定

ハ既成法典同條第一項ノ主章ニ依ルモノニシテ本條末項ハ既成法典同條第一項ノ規定ニ從フ便宜法スリ而シテ本條第二項ハ既成法典同條第三項ト殆シ同ナリト雖モ既成法典ハ本項ノ場合ニ于テ蓋シ本案ハ既成法典同條第三項ト殆シ同ナリト雖モ既成法典ハ本項ノ場合ニ于テ優先權ヲ失ハシムルニ反シ本案ハ登記ヲ爲シタル第二著ニ對シテノモ先取特權ヲ行コトヲ得ストレ從ニ當地ノ債權者ニ對シテハ尙ホ優先權ヲ有シシムルモノニシテ之レ固ヨリ至當ノ修正ト云

フヘキノミ

### 第三百三十六條

(理由) 本條第一項ハ既成法典擔保編第一百四十五條ニ相當ニ既成法典ハ單ニ他ノ債權者ニ對抗スル爲ス登記ヲ要セスト規定コト雖モ聊カ原キニ失スル虞ルヲ以テ本案ハ特別ノ擔保ナキ債權者ニ對抗スル爲登記ヲ要セスト改メタリ又本條第二項ハ既成法典擔保編第一百九十九條ニ字句ノ修正ヲ加ヘタル過キス

### 第三百三十七條

(理由) 本條ハ不動產保存ノ先取特權ヲ保存スル手續ヲ定ムモノニシテ本案カ既ニ第三百一十五條ノ規定ニ依リテ此特權ヲ認メタル自然ノ結果ニ出フルモノナリ而シテ其保存ノ方法ハ他ノ不動產ノ先取特權如ク登記セシムルヲ以テ適當ト認ムルニ因リ保存行為完ノ後直チニ登記ヲ爲スヘキモ

### 第三百三十八條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百七十五條及ヒ第百八十二條ノ規定ヲ擷括シテ之ニ修正ヲ加エタル

也ノニシテ不動産工事ノ先取特權ヲ保存スル時期増額額予定ノ標準及ヒ其方法ヲ定ムルモノトス既

成法典擔保編第百七十五條ニ於テ三種調書ヲ併ヘキヨド及ヒ同第百八十三條ニ於テ此等調書ニ依タル登記ノ時三關シ精察ナル規定ヲ掲クト誰モ如斯手續ハ從來ノ慣習上到底行ハレ難ク之シカ

爲ニ先取特權ノ便益ヲ減殺スル虞アルヲ以テ本業ハ務メテ之ヲ簡略ニシ工事著手前ニ一度登記額ヲ記セハ之ニ依リテ先取特權ヲ保存スルコト得シシ且此登記ニ依リテ増額額予定ノ標準ニ定ム

タリ又木條第二項ハ既成法典擔保編第百七十五條第二項前段ノ規定ノ如ク増額額予定ノ手續ヲ定ムルモノトス

サルモノナリ

### 第三百三十九條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百三十五條第二項ノ規定ニ依ルモノニシテ既成法典ハ之ヲ先取特權ノ總則中掲ガクト誰モ本條ノ規定ハ固ヨリ先取特權ノ效力ニ關スルモノナレハ本業ハ其位置ヲ變シテ之ヲ本條ニ掲ケタリ即チ本條ハ第三百三十七條及ヒ第三百三十八條ノ規定ニ從ヒ保存シタル一種ノ先取特權ト抵當權ト競合スル場合ニ於テ此種ノ先取特權カ優先ノ效力ヲ有スルコトヲ認ムル也ノシテ不動產保存ノ先取特權ト抵當權競合スル場合ハ既成法典ノ豫想ニ基ル所ナリト雖モ大業ハ新此特權ヲ認メタルヲ以テ本條ノ主意ニ於テハ既成法典異ナル所ナシト雖モ其場合ヲニセ

ルモノトス

### 第三百四十條

(理由) 本條ハ既成法典擔保編第百七十八條及ヒ第一百八十一條ノ修正シタルモノナリト雖モ多クハ字句ノ修正止マレリ即チ既成法典ハ代價ノ全額又ハ一分辨權ナキ旨ヲ記シタル所有權移轉證書ニ依タル登記ヲ爲スヘキコトヲ要スト誰モ本業ハ所有權移轉ヲ必ス登記セリルヘカラサルモノナレハ之ニ登記スルニ當リ附隨ノ登記シテ代價又ヘ利息辨償キ旨ヲ附記スヘシト改メタリ又木業ハ既成法典擔保編第百八十一條第三項ノ如ク所有權移轉證書ニルトキ右ノ附記ヲ爲サリシ賣主ハ何時ニテモ其附記ヲ爲スコトヲ得ルモ附記前ニ登記ヲ爲タル第三者ニ對シテ先取特權ヲ行フコトヲ得サル之念ナリト雖モ斯ノ如キ事項ハ別ニ明文ヲ要セリムヘン其他既成法典擔保編第百七十七條ハ無用ノ條文シムヲ以テ又第百七十八條乃至至第百八十一條ノ交換分割等ニ關スル規定ハ既ニ本業第三百三十五條ノ於テ明理セシ理由ニ因リテ總テ之ヲ删除シ且既成法典擔保編第百八十二條ハ解除訴條及ヒ第百九十四條ノ規定ニ倣ヒ本條ヲ設ケタリ

### 第三百四十一條

(理由) 先取特權ノ效力ニ關スル規定ハ固ヨリ本節ノ條項ヲ以テ盡シタリト云フコトヲ得ス然レトモ此ニシテ規定スルトキハ抵當權ニ關スル規定ト重複スルヲ以テ本業モ亦既成法典擔保編第百八十八條及ヒ第百九十四條ノ規定ニ倣ヒ本條ヲ設ケタリ